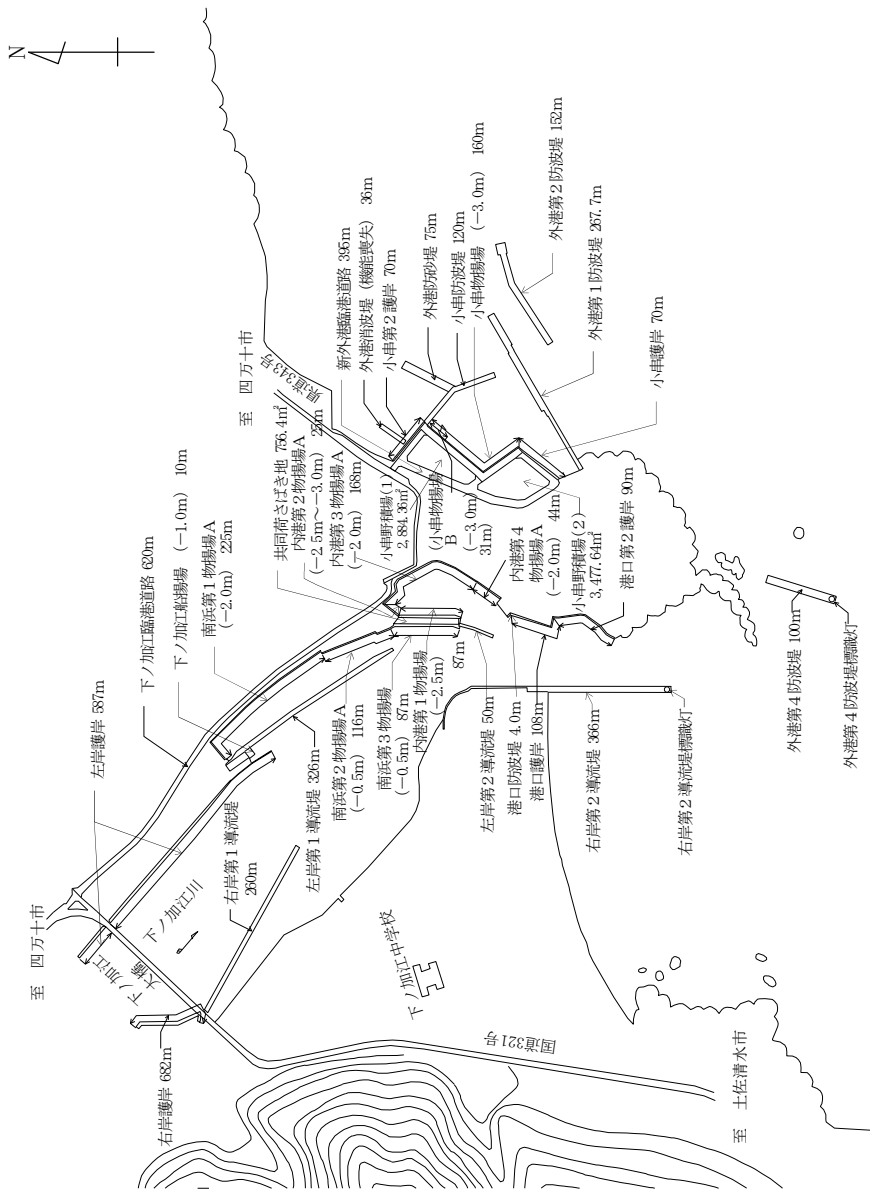


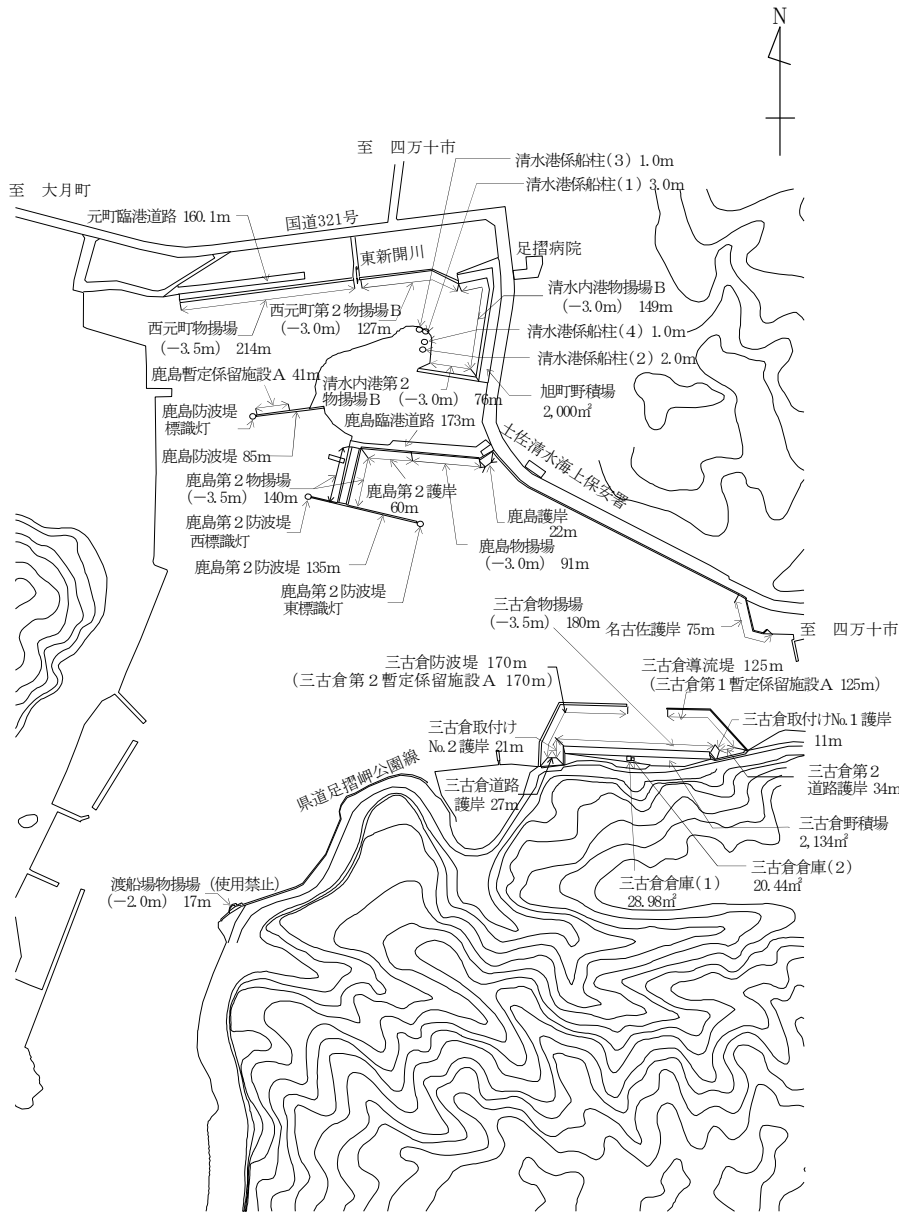
高知県公報 発行 高知県 高知市丸ノ内 一丁目2番20号 発行日 毎週2回 (火曜日・金曜日)		件) その他	10
		○公営住宅法に基づく県営住宅等の管理 の代行	(住 宅 課) 18
		○公営住宅法に基づく村営住宅等の管理 の代行	(〃) 19
目 次		----- 規 則 -----	
規 則	ページ	高知県港湾施設管理条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司	
◎高知県港湾施設管理条例施行規則の一部を改正する規則	1	高知県規則第26号 高知県港湾施設管理条例施行規則の一部を改正する規則 高知県港湾施設管理条例施行規則（昭和29年高知県規則第51号）の一部を次のように改正する。 別表第2の別図47を次のように改める。	
告 示			
○自動車税環境性能割に係る証紙代金収納計器取扱人の指定	(税 務 課) 3		
○自動車税種別割及び自動車税環境性能割に係る証紙代金収納計器取扱人の指定	(〃) 3		
○高知県保護無形民俗文化財の指定	(歴史文化財課) 3		
◎告示（高知県保護有形民俗文化財及び高知県保護無形民俗文化財の指定）の一部改正	(〃) 4		
○保安林の指定施業要件の変更予定の通知	(治山林道課) 4		
○道路の区域変更（2件）	(道 路 課) 4		
○道路の供用開始（2件）	(〃) 5		
○電線共同溝を整備すべき道路の指定	(〃) 5		
◎告示（海岸保全区域の指定）の一部改正（2件）	(港湾・海岸課) 5		
◎告示（港湾施設の概要）の一部改正	(〃) 8		
◎告示（海岸保全区域の指定）の廃止	(〃) 8		
公 告			
○都市計画の変更の図書の縦覧（2件）（都市計画課）	8		
高知県教育委員会規則			
◎へき地等学校等を指定する規則の一部を改正する規則	9		
◎高知県立中学校及び高等学校教育課程実施規則の一部を改正する規則	9		
高知県選挙管理委員会告示			
○政治団体の設立の届出	9		
○政治団体の届出事項の異動の届出	9		
○政治団体の解散の届出	10		
○資金管理団体でなくなった旨の届出	10		
監査公表			
○高知県職員措置請求についての監査の執行結果（3			

別図47 下ノ加江港物揚場等の区域図



別表第2の別図51を次のように改める。

別図51 清水港物揚場等の区域図



附 則

この規則は、公布の日から施行する。

告 示

高知県告示第201号

高知県税規則（昭和33年高知県規則第11号）第72条の10において読み替えて準用する同規則第73条の3第3項の規定により、自動車税環境性能割に係る証紙代金収納計器取扱人として次のとおり指定する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 1 証紙代金収納計器取扱人の事務所の所在地及び名称
高知市長浜3106番3
一般社団法人全国軽自動車協会連合会高知事務所
- 2 証紙代金収納計器取扱所の所在地及び名称
高知市長浜3106番3
一般社団法人全国軽自動車協会連合会高知事務所
- 3 指定期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

高知県告示第202号

高知県税規則（昭和33年高知県規則第11号）第73条の3第3項（同規則第72条の10において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、自動車税種別割及び自動車税環境性能割に係る証紙代金収納計器取扱人として次のとおり指定する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 1 証紙代金収納計器取扱人の事務所の所在地及び名称
高知市大津乙1879番地5
一般社団法人日本自動車販売協会連合会高知県支部
- 2 証紙代金収納計器取扱所の所在地及び名称
高知市大津乙1879番地5
一般社団法人日本自動車販売協会連合会高知県支部
- 3 指定期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

高知県告示第203号

高知県文化財保護条例（昭和36年高知県条例第1号）第26条第1項の規定に基づき、次の表に掲げる無形の民俗文化財を高知県保護無形民俗文化財に指定する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

名称	所在地	保持団体
岩井口・	高岡郡佐川町西組	岩井口塚谷念

塚谷の不動明王四遍念仏	仏保存会
-------------	------

高知県告示第204号

令和5年11月高知県告示第739号（高知県保護有形民俗文化財及び高知県保護無形民俗文化財の指定）の一部を次のように改正する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

第2の8を次のように改める。

8（1）名称

土佐の花取踊（太刀踊）

（2）所在地

ア 高岡郡佐川町四ツ白 仁井田神社

イ 高知市鏡大利 新宮神社

ウ 土佐市蓮池 西宮八幡宮

エ 四万十市磯ノ川 天満宮

オ 高岡郡四万十町米奥 白河神社（川奥集会所）

カ 高岡郡日高村沖名 城八幡宮

キ 室戸市室戸岬町椎名 八王子宮

ク 須崎市多ノ郷 賀茂神社

ケ 吾川郡仁淀川町大植川又 八所神社

コ 須崎市大谷 須賀神社

サ 高岡郡津野町姫野々 三島神社

（3）保持団体

ア 佐川町太刀踊 四ツ白武士踊り（太刀踊り）会

イ 大利太刀踊 大利太刀踊保存会

ウ 蓮池太刀踊 蓮池太刀踊保存会

エ 磯ノ川太刀踊 磯ノ川太刀踊り保存会

オ 川奥ノ花取踊 代表者 川奥地区区長

カ 沖名の花採太刀踊 日高村太刀踊保存会

キ 椎名太刀踊 椎名太刀踊保存会

ク 多ノ郷太刀踊 多ノ郷花取踊り保存会

ケ 川又花取踊 泉川長者花鳥踊り保存会

コ 大谷花取踊 大谷花取踊保存会

サ 葉山村花取踊 葉山花取踊り保存会

（4）指定年月日

ア （2）のアからケまで及び（3）のアからケまで 昭和40年6月18日

イ （2）のコ及びサ並びに（3）のコ及びサ 昭和44年8月8日

第2中

「21（1）名称

久保川お伊勢踊り

（2）所在地

高岡郡津野町久保川

（3）保持団体

久保川お伊勢踊り保存会

（4）指定年月日

令和6年3月29日

を

「21（1）名称

久保川お伊勢踊り

（2）所在地

高岡郡津野町久保川

（3）保持団体

久保川お伊勢踊り保存会

（4）指定年月日

令和6年3月29日

22（1）名称

岩井口・塚谷の不動明王四遍念仏

（2）所在地

高岡郡佐川町西組

（3）保持団体

岩井口塚谷念仏保存会

（4）指定年月日

令和7年3月28日

に改める。

高知県告示第205号

農林水産大臣から、次のとおり保安林の指定施業要件を変更する予定である旨の通知があったので、森林法（昭和26年法律第249号）第33条の3において読み替えて準用する同法第30条の規定により告示する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

1 指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所

高岡郡樺原町井高913、913の2、913の3、914、941の2、953、954、横貝476、570、上組16、17、57、太田戸516、茶や谷809、813、836の1から836の3まで、838、839の1から839の3まで、中の川115、115の2、117

2 保安林として指定された目的

水源の涵養

3 変更に係る指定施業要件

（1）立木の伐採の方法

変更しない。

（2）立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種

次のとおりとする。

（「次のとおり」は、省略し、その関係書類を高知県林業振興・環境部治山林道課及び樺原町役場に備え置いて縦覧に供す

る。）

高知県告示第206号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第1項の規定により、道路の区域を次のとおり変更する。

その関係図面は、令和7年3月28日から2週間高知県土木部道路課及び高知県幡多土木事務所において一般の縦覧に供する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

1 道路の種類 県道

2 路線名 中村宿毛

3 道路の区域

区 間	変更前後の別	敷地の幅員 （メートル）	延 長 （メートル）
幡多郡三原村亀ノ川字森ノ山1002番9から幡多郡三原村亀ノ川字竹畑185番2まで	前	A 3.5 43.7	331
幡多郡三原村亀ノ川字桑原1107番から幡多郡三原村亀ノ川字下モ澤190番1まで		B 8.1 25.2	342
幡多郡三原村亀ノ川字桑原1107番から幡多郡三原村亀ノ川字下モ澤190番1まで	後	8.1 25.2	342

高知県告示第207号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第1項の規定により、道路の区域を次のとおり変更する。

その関係図面は、令和7年3月28日から2週間高知県土木部道路課及び高知県幡多土木事務所において一般の縦覧に供する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

1 道路の種類 県道

2 路線名 宗呂中村

3 道路の区域

区 間	変更前	敷地の幅員	延 長
-----	-----	-------	-----

	後の別	(メートル)	(メートル)
幡多郡三原村下切字 タイノ谷山923番78 から 幡多郡三原村下切字 宮ノダバ203番1ま で	前	2.4 ～ 11.4	1301
幡多郡三原村下切字 タイノ谷山923番78 から 幡多郡三原村下切字 大谷平山899番14ま で	後	4.2 ～ 5.8	37

高知県告示第208号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第2項の規定により、
道路の供用を次のとおり開始する。

その関係図面は、令和7年3月28日から2週間高知県土木部道
路課及び高知県幡多土木事務所において一般の縦覧に供する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 1 道路の種類 県道
- 2 路線名 中村宿毛
- 3 道路の区域

供 用 開 始 区 間	延 長 (メートル)	供用開始年月日
幡多郡三原村亀ノ川字桑原 1107番から 幡多郡三原村亀ノ川字下モ 澤190番1まで	342	令和7年3月28 日

高知県告示第209号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第2項の規定により、
道路の供用を次のとおり開始する。

その関係図面は、令和7年3月28日から2週間高知県土木部道
路課及び高知県高知土木事務所において一般の縦覧に供する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 1 道路の種類 県道
- 2 路線名 後免中島高知
- 3 道路の区域

供 用 開 始 区 間	延 長 (メートル)	供用開始年月日
高知市はりまや町二丁目 262番1から 高知市はりまや町一丁目 368番8まで	162	令和7年3月31 日

高知県告示第210号

電線共同溝の整備等に関する特別措置法（平成7年法律第39
号）第3条第1項の規定に基づき電線共同溝を整備すべき道路と
して指定したので、同条第4項の規定により次のとおり告示す
る。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 1 道路の種類 県道
- 2 路線名 桂浜はりまや
- 3 区間 高知市棧橋通五丁目31番5から同市棧橋通三丁目76番まで
- 4 指定年月日 令和7年3月28日

高知県告示第211号

昭和40年10月高知県告示第516号（海岸保全区域の指定）の一
部を次のように改正する。

令和7年3月28日

高知県知事 濱田 省司

- 10を次のように改める。
- 10 土佐湾沿岸田野浦漁港海岸田野浦地区海岸の海岸保全区域
(1) 海岸の名称 土佐湾沿岸田野浦漁港海岸田野浦地区海岸
(2) 指定の場所 幡多郡黒潮町田野浦
(3) 指定の区域
ア 基準点
(ア) 幡多郡黒潮町田野浦字家ノ前1712番1地先に設けた
点（基準^{ひょう}鋳）を基準点1とする。
(イ) 基準点1から方位角345度51分47秒58.819メートル
の点（基準^{ひょう}鋳）を基準点2とする。
(ウ) 基準点2から方位角1度50分12秒130.142メートル
の点（基準^{ひょう}鋳）を基準点3とする。
(エ) 基準点3から方位角30度34分28秒81.456メートルの
点（基準^{ひょう}鋳）を基準点4とする。

イ 補助点

- 基A1 基準点1から方位角205度35分11秒7.671メー
トルの点
基A2 基準点1から方位角326度53分27秒5.827メー
トルの点
基A3 基準点1から方位角337度14分40秒13.671メー
トルの点
基A4 基準点1から方位角339度07分10秒33.533メー
トルの点
基A5 基準点2から方位角305度58分22秒11.100メー
トルの点
基A6 基準点2から方位角351度43分06秒21.001メー
トルの点
基A7 基準点2から方位角3度38分08秒36.856メー
トルの点
基A8 基準点2から方位角5度38分53秒48.772メー
トルの点
基A9 基準点2から方位角5度27分26秒61.849メー
トルの点
基A10 基準点2から方位角4度05分30秒75.975メー
トルの点
基A11 基準点3から方位角304度50分45秒6.490メー
トルの点
基A12 基準点4から方位角358度55分29秒10.497メー
トルの点
基A13 基準点4から方位角55度53分02秒9.808メー
トルの点
基A14 基準点3から方位角53度49分55秒8.377メー
トルの点
基A15 基準点3から方位角68度47分10秒9.145メー
トルの点
基A16 基準点3から方位角98度07分58秒5.966メー
トルの点
基A17 基準点2から方位角82度59分23秒2.851メー
トルの点
基A18 基準点2から方位角9度44分40秒77.422メー
トルの点
基A19 基準点2から方位角12度28分06秒62.927メー
トルの点
基A20 基準点2から方位角14度40分57秒48.994メー
トルの点
基A21 基準点2から方位角15度41分46秒36.161メー
トルの点
基A22 基準点2から方位角9度37分11秒13.171メー
トルの点

基A23 基準点2から方位角13度55分56秒12.962メートルの点 基A24 基準点2から方位角3度38分15秒6.068メートルの点 基A25 基準点2から方位角108度57分41秒2.789メートルの点 基A26 基準点2から方位角122度37分47秒2.189メートルの点 ウ 区域 基A1から基A26まで及び基A1の各点を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域 12 豊後水道東沿岸泊浦漁港海岸泊浦地区海岸の海岸保全区域 (1) 海岸の名称 豊後水道東沿岸泊浦漁港海岸泊浦地区海岸 (2) 指定の場所 幡多郡大月町泊浦 (3) 指定の区域 ア 基準点 (ア) 幡多郡大月町泊浦字セイラ382番1地先に設けた点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点1とする。 (イ) 基準点1から方位角332度36分32秒59.192メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点2とする。 (ウ) 基準点2から方位角21度43分33秒59.876メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点3とする。 (エ) 基準点3から方位角29度42分06秒106.983メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点4とする。 (オ) 基準点4から方位角330度31分41秒108.767メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点5とする。 (カ) 基準点5から方位角337度04分34秒63.509メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点6とする。 (キ) 基準点6から方位角287度01分29秒86.241メートルの点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点7とする。 イ 補助点 基A1 基準点1から方位角187度38分18秒31.470メートルの点 基A2 基準点1から方位角247度20分58秒45.855メートルの点 基A3 基準点1から方位角298度52分17秒91.048メートルの点 基A4 基準点3から方位角291度19分01秒52.516メートルの点 基A5 基準点3から方位角348度08分12秒56.821メートルの点 基A6 基準点3から方位角1度30分36秒110.012メー	トルの点 基A7 基準点5から方位角250度59分52秒55.270メートルの点 基A8 基準点5から方位角307度06分51秒96.345メートルの点 基A9 基準点5から方位角314度23分50秒106.288メートルの点 基A10 基準点5から方位角336度35分29秒64.505メートルの点 基A11 基準点7から方位角102度37分16秒83.702メートルの点 基A12 基準点7から方位角85度51分46秒85.936メートルの点 基A13 基準点7から方位角78度55分00秒86.362メートルの点 基A14 基準点7から方位角79度28分31秒84.995メートルの点 基A15 基準点7から方位角76度13分14秒82.242メートルの点 基A16 基準点7から方位角75度31分39秒84.124メートルの点 基A17 基準点7から方位角68度37分11秒75.203メートルの点 基A18 基準点7から方位角65度58分56秒62.400メートルの点 基A19 基準点7から方位角62度29分18秒42.719メートルの点 基A20 基準点7から方位角59度38分27秒27.609メートルの点 基A21 基準点7から方位角63度00分34秒12.284メートルの点 基A22 基準点7から方位角48度57分32秒12.065メートルの点 基A23 基準点7から方位角49度52分33秒18.968メートルの点 基A24 基準点7から方位角52度54分36秒27.639メートルの点 基A25 基準点7から方位角57度04分16秒39.456メートルの点 基A26 基準点7から方位角65度09分03秒74.592メートルの点 基A27 基準点7から方位角69度29分26秒82.458メートルの点 基A28 基準点7から方位角74度53分15秒87.088メートルの点	基A29 基準点7から方位角79度22分36秒89.715メートルの点 基A30 基準点7から方位角83度19分20秒89.755メートルの点 基A31 基準点7から方位角102度23分09秒86.413メートルの点 基A32 基準点5から方位角332度31分28秒41.934メートルの点 基A33 基準点5から方位角41度01分52秒1.114メートルの点 基A34 基準点5から方位角126度28分34秒46.055メートルの点 基A35 基準点3から方位角25度26分12秒135.051メートルの点 基A36 基準点3から方位角28度03分46秒125.075メートルの点 基A37 基準点3から方位角54度44分07秒44.155メートルの点 基A38 基準点3から方位角60度43分57秒32.713メートルの点 基A39 基準点3から方位角58度52分30秒9.563メートルの点 基A40 基準点3から方位角180度42分48秒3.855メートルの点 基A41 基準点1から方位角334度46分59秒58.965メートルの点 基A42 基準点1から方位角330度13分35秒48.269メートルの点 基A43 基準点1から方位角339度26分08秒27.199メートルの点 基A44 基準点1から方位角352度04分14秒22.783メートルの点 ウ 区域 基A1から基A44まで及び基A1の各点を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域 14 豊後水道東沿岸柏島漁港海岸柏島地区海岸の海岸保全区域 (1) 海岸の名称 豊後水道東沿岸柏島漁港海岸柏島地区海岸 (2) 指定の場所 幡多郡大月町大字柏島 (3) 指定の区域 ア 基準点 (ア) 幡多郡大月町柏島宇町前27番地先に設けた点（基準^{（ウ）}鋳）を基準点1とする。
--	--	--

イ	(イ) 基準点1から方位角64度53分41秒52.927メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点2とする。	基A9 基準点2から方位角84度41分35秒11.904メートルの点	トルの点
	(ウ) 基準点2から方位角33度23分38秒45.818メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点3とする。	基A10 基準点2から方位角107度43分00秒7.972メートルの点	基B2 基準点11から方位角209度19分03秒73.971メートルの点
	(エ) 基準点3から方位角50度29分46秒94.147メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点4とする。	基A11 基準点2から方位角193度01分26秒3.967メートルの点	基B3 基準点11から方位角312度15分18秒29.575メートルの点
	(オ) 基準点4から方位角337度42分42秒75.142メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点5とする。	基A12 基準点1から方位角3度33分01秒13.565メートルの点	基B4 基準点11から方位角359度44分30秒16.182メートルの点
	(カ) 基準点5から方位角331度22分22秒63.879メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点6とする。	基A13 基準点1から方位角88度27分50秒2.723メートルの点	基B5 基準点11から方位角19度41分01秒22.477メートルの点
	(キ) 基準点6から方位角267度05分10秒30.786メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点7とする。	基A14 基準点1から方位角232度06分16秒2.436メートルの点	基B6 基準点11から方位角67度14分29秒41.970メートルの点
	(ク) 基準点7から方位角252度31分09秒96.665メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点8とする。	基A15 基準点1から方位角345度22分21秒22.306メートルの点	基B7 基準点12から方位角80度07分03秒10.808メートルの点
	(ケ) 基準点8から方位角255度51分02秒104.854メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点9とする。	基A16 基準点2から方位角26度03分10秒5.902メートルの点	基C1 基準点13から方位角304度02分04秒7.152メートルの点
	(コ) 基準点9から方位角257度14分31秒79.485メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点10とする。	基A17 基準点2から方位角36度12分46秒8.128メートルの点	基C2 基準点14から方位角274度46分41秒17.204メートルの点
	(サ) 幡多郡大月町柏島字波戸場ノ脇634番地先に設けた点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点11とする。	基A18 基準点4から方位角323度34分58秒51.342メートルの点	基C3 基準点14から方位角301度48分52秒5.626メートルの点
	(シ) 基準点11から方位角85度03分11秒67.409メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点12とする。	基A19 基準点4から方位角331度25分55秒65.272メートルの点	基C4 基準点14から方位角69度55分57秒27.083メートルの点
	(ス) 基準点12から方位角187度16分18秒142.850メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点13とする。	基A20 基準点6から方位角158度42分13秒18.566メートルの点	基C5 基準点15から方位角17度02分21秒4.440メートルの点
	(セ) 基準点13から方位角88度41分12秒75.430メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点14とする。	基A21 基準点6から方位角239度15分03秒11.352メートルの点	基C6 基準点15から方位角150度27分29秒10.368メートルの点
	(ソ) 基準点14から方位角75度16分57秒81.093メートルの点（基準 ^{ひょう} 鉾）を基準点15とする。	基A22 基準点6から方位角249度27分55秒62.696メートルの点	基C7 基準点14から方位角98度08分17秒29.048メートルの点
イ	補助点	基A23 基準点6から方位角252度28分00秒62.654メートルの点	基C8 基準点14から方位角193度16分20秒10.950メートルの点
	基A1 基準点10から方位角331度06分01秒84.513メートルの点	基A24 基準点9から方位角83度00分22秒74.710メートルの点	基C9 基準点13から方位角108度10分54秒36.701メートルの点
	基A2 基準点9から方位角18度00分28秒86.633メートルの点	基A25 基準点9から方位角84度27分19秒74.940メートルの点	基C10 基準点13から方位角213度31分10秒11.738メートルの点
	基A3 基準点6から方位角337度43分44秒83.728メートルの点	基A26 基準点9から方位角87度05分49秒55.861メートルの点	ウ 区域
	基A4 基準点6から方位角34度39分45秒77.830メートルの点	基A27 基準点9から方位角89度32分07秒56.206メートルの点	(ア) A地区
	基A5 基準点6から方位角74度41分40秒101.775メートルの点	基A28 基準点9から方位角171度41分07秒10.532メートルの点	基A1から基A30まで及び基A1を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域
	基A6 基準点4から方位角62度58分59秒90.412メートルの点	基A29 基準点9から方位角172度18分34秒7.854メートルの点	(イ) B地区
	基A7 基準点4から方位角125度47分00秒54.267メートルの点	基A30 基準点10から方位角251度49分42秒27.743メートルの点	基B1から基B7まで及び基B1を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域
	基A8 基準点4から方位角309度10分22秒37.754メートルの点	基B1 基準点12から方位角182度56分13秒87.303メー	(ウ) C地区
			基C1から基C10まで及び基C1を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域
			高知県告示第212号
			昭和40年10月高知県告示第517号（海岸保全区域の指定）の一

部を次のように改正する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司 23を次のように改める。 23 豊後水道東沿岸田ノ浦漁港海岸田ノ浦地区海岸の海岸保全区域 (1) 海岸の名称 豊後水道東沿岸田ノ浦漁港海岸田ノ浦地区海岸 (2) 指定の場所 宿毛市小筑紫町田ノ浦 (3) 指定の区域 ア 基準点 (ア) 宿毛市小筑紫町田ノ浦字六地藏575番12地先に設けた点（基準^{ひょう}銀）を基準点1とする。 (イ) 基準点1から方位角162度23分56秒75.965メートルの点（基準^{ひょう}銀）を基準点2とする。 イ 補助点 基A1 基準点1から方位角326度29分54秒40.910メートルの点 基A2 基準点2から方位角178度24分43秒41.100メートルの点 基A3 基準点2から方位角113度19分45秒72.518メートルの点 基A4 基準点2から方位角106度12分14秒66.997メートルの点 基A5 基準点2から方位角117度34分10秒48.731メートルの点 基A6 基準点2から方位角131度07分07秒37.408メートルの点 基A7 基準点2から方位角144度50分23秒30.537メートルの点 基A8 基準点2から方位角152度11分15秒26.581メートルの点 基A9 基準点2から方位角157度26分11秒21.707メートルの点 基A10 基準点2から方位角165度08分33秒14.504メートルの点 基A11 基準点2から方位角133度12分42秒12.711メートルの点 基A12 基準点1から方位角44度18分14秒7.159メートルの点 基A13 基準点1から方位角2度20分39秒3.594メートルの点 基A14 基準点1から方位角344度10分07秒38.533メートルの点	ウ 区域 基A1から基A14まで及び基A1の各点を順次に直線で結んだ線により囲まれた区域 高知県告示第213号 昭和61年5月高知県告示第317号（港湾施設の概要）の一部を次のように改正する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司 表の下ノ加江港の外郭施設の項中「外港消波堤（機能喪失）」に改め、同表の清水港の係留施設の項中「渡船場物揚場」を「渡船場物揚場（使用禁止）」に改める。 高知県告示第214号 昭和61年11月高知県告示第678号（海岸保全区域の指定）は、令和7年3月28日限り廃止する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司 ----- 公 告 ----- 都市計画法（昭和43年法律第100号）第21条第2項において準用する同法第20条第1項の規定により須崎市から都市計画の変更の図書の写しの送付を受けたので、同法第21条第2項において準用する同法第20条第2項の規定により次のとおり当該図書の写しを公衆の縦覧に供する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司 1 都市計画の種類 須崎都市計画公園 2 縦覧場所 高知県土木部都市計画課及び須崎市役所 ~~~~~ 都市計画法（昭和43年法律第100号）第21条第2項において準用する同法第20条第1項の規定により香南市から都市計画の変更の図書の写しの送付を受けたので、同法第21条第2項において準用する同法第20条第2項の規定により次のとおり当該図書の写しを公衆の縦覧に供する。 令和7年3月28日 高知県知事 濱田 省司 1 都市計画の種類 香南都市計画下水道 2 縦覧場所 高知県土木部都市計画課及び香南市役所	
--	--	--

教 育 委 員 会 規 則

へき地等学校等を指定する規則の一部を改正する規則をここに公布する。
令和7年3月28日

高知県教育長 長岡 幹泰

高知県教育委員会規則第3号

へき地等学校等を指定する規則の一部を改正する規則

へき地等学校等を指定する規則（平成16年高知県教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

別表第1の1級の高岡郡の四万十町の項を次のように改める。

四万十町	米奥小学校	平成22年4月1日
	若井川小学校	平成18年3月20日
	田野々小学校	令和4年4月1日
	大奈路小学校	平成18年3月20日
	北ノ川小学校	〃
	十和小学校	令和7年4月1日
	昭和小学校	平成22年4月1日
	北ノ川中学校	平成18年3月20日
	十和中学校	令和7年4月1日
	昭和中学校	平成22年4月1日
	大正中学校	令和4年4月1日
	四万十町立大正学校給食センター	〃
	四万十町立十和学校給食センター	平成22年4月1日

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

~~~~~  
高知県立中学校及び高等学校教育課程実施規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和7年3月28日

高知県教育長 長岡 幹泰

高知県教育委員会規則第4号

高知県立中学校及び高等学校教育課程実施規則の一部を改正する規則

高知県立中学校及び高等学校教育課程実施規則（昭和47年高知県教育委員会規則第7号）の一部を次のように改正する。

別表第1中「四万十町立十川中学校」を「四万十町立十和中学校」に改める。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

-----  
選 挙 管 理 委 員 会 告 示  
-----

高知県選挙管理委員会告示第18号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第6条第1項の規定による政治団体の届出があったので、同法第7条の2第1項の規定により次のとおり公表する。

令和7年3月28日

高知県選挙管理委員会委員長 田中 庄司

その他の政治団体（政党及び国会議員関係政治団体以外の政治団体）

| 名称        | 代表者の氏名 | 会計責任者の氏名 | 主たる事務所の所在地     | 届出年月日  |
|-----------|--------|----------|----------------|--------|
| たのうえ久美後援会 | 田上 久美  | 田上 久美    | 吾川郡いの町枝川607番地1 | 令7・2・4 |

高知県選挙管理委員会告示第19号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第7条第1項の規定による政治団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第7条の2第1項の規定により次のとおり公表する。

令和7年3月28日

高知県選挙管理委員会委員長 田中 庄司

政党の支部（国会議員関係政治団体以外の政党の支部）

| 区分 | 名称<br>（代表者の氏名） | 代表者の氏名 | 会計責任者の氏名 | 主たる事務所の所在地 | 異動年月 |
|----|----------------|--------|----------|------------|------|
|----|----------------|--------|----------|------------|------|

|   | 名)                       |      |       | 在地                       | 日       |
|---|--------------------------|------|-------|--------------------------|---------|
| 旧 | 参政党高知県支部連合会<br>(田中 佳代)   | 異動なし | 異動なし  | 高知市はりまや町一丁目5番30号カゲヤマビル2階 | 令6・8・1  |
| 新 |                          |      |       | 高知市介良乙3137-5             |         |
| 旧 | 自由民主党高知市土佐山支部<br>(高橋 英雄) | 異動なし | 中岡 延之 | 異動なし                     | 令7・2・12 |
| 新 |                          |      | 高橋 裕忠 |                          |         |

その他の政治団体（政党及び国会議員関係政治団体以外の政治団体）

| 区分 | 名称<br>(代表者の氏名)           | 代表者の氏名 | 会計責任者の氏名 | 主たる事務所の所在地        | 異動年月日   |
|----|--------------------------|--------|----------|-------------------|---------|
| 旧  | 山本有二後援会<br>(松尾 政顕)       | 異動なし   | 異動なし     | 高知市棧橋通三丁目31-1     | 令7・2・1  |
| 新  |                          |        |          | 須崎市浦ノ内西分1284-24-B |         |
| 旧  | 高知県司法書士制度推進会議<br>(福島 茂雄) | 異動なし   | 異動なし     | 異動なし              | 令6・12・1 |
| 新  | 日本司法書士政治連盟高知会<br>(福島 茂雄) |        |          |                   |         |
| 旧  | 川村圭一後援会<br>(川村 圭一)       | 異動なし   | 田淵 哲也    | 異動なし              | 令7・2    |

|   |                      |      |       |              |         |
|---|----------------------|------|-------|--------------|---------|
| 新 |                      |      | 川村 圭一 |              | ・21     |
| 旧 | 常石ひろたか後援会<br>(常石 博高) | 異動なし | 異動なし  | 安芸郡田野町3137-4 | 令7・2・20 |
| 新 |                      |      |       | 安芸郡田野町2429-1 |         |
| 旧 | 高橋ひろただ後援会<br>(筒井 昭)  | 異動なし | 筒井 昭  | 異動なし         | 令7・2・25 |
| 新 |                      |      | 高橋 裕忠 |              |         |

高知県選挙管理委員会告示第20号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第17条第1項の規定による政治団体の解散の届出があったので、同条第3項の規定により次のとおり公表する。

令和7年3月28日

高知県選挙管理委員会委員長 田中 庄司

その他の政治団体

| 名称          | 代表者の氏名 | 解散年月日    |
|-------------|--------|----------|
| 浜田のりお後援会    | 濱田 憲雄  | 令6・12・31 |
| 久米里志後援会     | 久米 里志  | 令7・2・1   |
| 山田としお高知県後援会 | 久岡 隆   | 令7・2・7   |
| 豊島みよ子後援会    | 大崎 定幸  | 令6・12・31 |

高知県選挙管理委員会告示第21号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号。以下「法」という。）第19条第3項第2号の規定による資金管理団体でなくなった旨の届出があったので、法第19条の2第1項の規定により次のとおり公表する。

令和7年3月28日

高知県選挙管理委員会委員長 田中 庄司

法第19条第3項第2号の規定による届出に係る資金管理団体

|          |  |        |
|----------|--|--------|
| 資金管理団体の届 |  | 資金管理団体 |
|----------|--|--------|

| 出をした者の氏名 | 名称      | でなくなった年月日 |
|----------|---------|-----------|
| 久米 里志    | 久米里志後援会 | 令7・2・1    |

監 査 公 表

監査公表第2号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第242条第1項の規定に基づき、令和7年1月7日 土佐市 大野正夫から提出のあった高知県職員措置請求について監査を行い、同年3月7日に監査結果を通知したので、同条第5項の規定により、次のとおり公表する。

令和7年3月28日

高知県監査委員 横山 文人  
同 上田 貢太郎  
同 奥村 陽子  
同 五百蔵 誠一

（企業名を「A」としたほかは原文のまま登載）

高知県職員措置請求監査報告書

第1 監査の請求

1 高知県職員措置請求書の提出

令和7年1月7日

2 請求人

土佐市 大野 正夫

3 請求の内容

請求人提出の高知県職員措置請求書による措置内容及び請求の理由は、次のとおりである。

（1） 措置内容

補助事業者である公益財団法人高知県産業振興センター（以下「センター」という。）に対して高知県（以下「県」という。）が支出した令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金のうち、間接補助事業者である株式会社A（以下「A」という。）にセンターが支出した補助金2,500万円（以下「本件補助金」という。）の県への返還を求める。

（2） 請求の理由

Aは、香南市周辺で産業廃棄物の取集運搬業を行っていたが、令和5年7月頃、産業廃棄物の中間処理事業に進出するため、産業振興センターが実施する令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要領に基づく補助金を活用した焼却炉の整備と廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び高知県産業廃棄物処理指導要綱（以下、「指導要綱」という。）に基づく処理業許可の

一体的取得を目指した。

ところが、指導要綱第6条第2号に定める地域住民1名（以下、「同意対象者」という。）の同意が得られなかった。

そこで、Aは、令和5年7月9日と11日に同意対象者とは関係ない施設計画敷地境界から300m外の2者から「計画についての説明書&誓約書」を取得し、同項同号に定める2／3の者の同意を得たと偽計し県環境対策課に提出した。

（※西側の対象外2者を同意対象者とするために、計測起点を進入路入口として300mを計測、南側は、空き家）

その後、Aは、同意対象者から令和5年11月4日付で「説明ききました」との記載を得たことから、この書面に「周辺住民説明に関する追加報告」を添付し、同意書と称して、県環境対策課に提出した。

令和6年に入り、地域でAへの不信、不安が高まる中、同意対象者は自身の記載した内容が同意書として扱われていることを知り、令和6年4月27日付で、「説明ききました」との記載は「同意したものではありません。」との書面を送付し、更に法的な否定が必要と考え、同年6月15日付、民法第96条第1項の規定に基づき「意思表示の取り消し通知」を送付せざるを得なかった。

この取り消し通知と前後して、Aは、既に提出済みの「周辺住民説明に関する追加報告」の内容を書き直し、「説明を聞いて同意したと書くから・・・」との虚偽記載を追加して県環境対策課の公文書（書面）を差し替えた。

このように同意対象者や地域住民の理解が得られない状況が続き、処理業許可に係る事務が遅滞した。

一方、令和6年2月1日付の高知新聞に「土佐市に産廃施設計画 住民不安視 業者は安全性強調」との見出しで産廃記事が掲載されたことを受け、県工業振興課と産業振興センターが協議した同年2月6日付、「土佐市での廃棄物処理施設について」の書類によると、補助金審査に最も重要な「許認可手続きの完了」と「周辺住民の同意」を除外している。これでは、全く「実現可能性」の審査が出来ないこととなる。

また、「サービスの新規性」については、Aの補助申請内容は、他事業への進出であり、かつ産廃中間処理は単純焼却であるため、新規性など全く無い。「市場性」等についても、循環型社会形成の国策に反するのみならず、SDGs社会の中で、CO2の発生及びPM2.5やダイオキシン類の公害が懸念される焼却処理であるた

め、発注者（産廃発生者）のイメージにも影響するため、そのニーズ、市場性は限定的である。

このように、産業振興センターの補助金審査は実質、無審査状態だったと推察される。

なお、特筆すべきは、事業計画名である。補助申請内容とは無関係の「環境循環型社会の実現」を謳った計画は、中身の無い、偽計看板だと指摘せざるを得ない。

令和5年12月7日、2基の煙突が突如出現し、地域住民の疑問と不安が渦巻いた。

指導要綱第3条第2項は、地域住民への事前説明を義務付けているが、Aは、煙突は「設置許可の要らない自家処理用である。」との風説を流布し、その責務を逃れて来た。

そのため、12月28日（※焼却炉搬入設置は12月7日）に土佐市から要求があるまで、地元説明を行う考えが無かったのである。

更に、住民の諦めムードを醸すため、「既に許可が出ることが決まっているが」と前置きして住民説明会の案内を行った。

さて、令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付事務について、Aは、産業振興センターに令和5年8月4日までに産業廃棄物中間処理事業用の焼却炉建築を内容とした補助金を交付申請した後、同年9月3日の段階で当該焼却炉を自家処理用に用途を変更し、県環境対策課に処理フロー計画を提出している。

（※Aの偽計行為は、補助金申請に関する誓約書違反3号証3－4）

こうした状況にも拘らず、産業振興センターは、同年9月27日、補助申請どおり中間処理事業用施設として事業採択した。

Aが自家処理用施設だと風評したのが煙突の立つ同年12月頃であるから、少なくとも、この期間中においては、産業振興センターの事業採択や補助金の支出は出来ない状況にあった。

産業振興センターの指導機関である県工業振興課は、廃棄物処理業の許認可が条件となるAの事業採択手続きを県環境対策課との密な連携を行うのが当然であるが、高知県補助金交付規則第9条の規定による「施設の他の用途への使用禁止」、第10条の「状況報告、調査及び指示」及び第13条の「是正指示」（※1）並びに第19条の「目的外使用に関する知事の承認」等の事務手続きに所要の対応措置も採らず、漫然と補助金交付事務を進めていた。

更に同課は、Aの中間処理業許可が出ない場合に備えて、産業振興センターが発する補助金確定通知書に補助

金返還条件を付加しなかったことも、また同様である。（※2）

以上のことから、県工業振興課は、高知県補助金交付規則に基づいた適正な予算執行を怠っていたと言わざるを得ない。

（※1）4号証①の「知事の承認に関する一切の書類」の解釈について、

県知事承認の可否の過程において、当然、報告、調査、指示等の経過を踏まなければ承認可否の決定ができないため、これらの書類が全く無いのは「状況報告、調査等」がなかった所以である。

（※2）4号証④の「補助金確定通知書に補助金返還条件の付加」について

未だ廃棄物処理業の申請や許可が出ていない中で、許可に条件を付加しない判断はあり得ない。

このことは、産業振興センターに対する工業振興課の指導が如何に杜撰だったかが明白である。

### （3） 事実を証する書面

ア 産業廃棄物処理施設の設置等に係る事前協議書

イ 公文書部分開示決定通知書（2件）

ウ 「土佐市での廃棄物処理施設建設について」

エ 公文書不存在決定通知書

オ 補助金交付決定通知書 ほか

### 第2 請求の受理

本件住民監査請求は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第242条に規定する要件を具備しているものと認め、受理することとした。

### 第3 監査の実施

#### 1 監査対象事項

請求の内容から、本件補助金の支出が違法又は不当であるか、また、本件補助金を県に返還させる必要があるかを監査対象とした。

#### 2 監査対象部局

令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金を所管している高知県商工労働部工業振興課（以下「工業振興課」という。）及び廃棄物の処理を所管している高知県林業振興・環境部環境対策課（以下「環境対策課」という。）を監査対象部局とした。

#### 3 証拠の提出及び陳述

##### （1） 請求人の陳述

令和7年1月31日、法第242条第7項の定めるところにより、請求人に対し、証拠の提出及び陳述の機会を設けた。

また、法第242条第8項の定めるところにより、関係職員として、工業振興課及び環境対策課の職員6名を立ち会

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>わせた。</p> <p>請求人は、措置請求書を補充する証拠として、陳述書を提出した。</p> <p>請求人の陳述の概要は、以下のとおりであった。</p> <p>ア Aの事業内容について、高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付目的への適合性に疑念を持つ。</p> <p>イ Aへの補助金の交付、口座振り込みには、不適切な手続がある。</p> <p>ウ Aは、不十分な同意書を作成している。</p> <p>エ Aは、高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金申請に関する誓約書兼同意書の提出後に事業内容を大きく変えており、契約違反である。</p> <p>（2） 監査対象部局の陳述</p> <p>同日、監査対象部局である工業振興課及び環境対策課に対し陳述の機会を設けたが、両課はいずれも陳述を希望しなかったことから、陳述は実施しなかった。</p> <p>4 監査の実施</p> <p>工業振興課及び環境対策課から関係書類の提出を受け、本件補助金に係るAの交付申請、本件補助金の交付、焼却炉2基（以下「本件施設」という。）の使用状況等について確認するとともに、令和7年2月18日に聴取を行った。</p> <p>聴取の概要は、以下のとおりであった。</p> <p>（1） 工業振興課</p> <p>ア センターにおいては、外部有識者を含めた5名の審査員により、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施し、一定の点数をクリアした事業者について予算の範囲内で上位の点数の者から採択し、交付決定を行っている。</p> <p>イ Aの補助金交付申請書に添付された事業計画の内容は、認定経営革新等支援機関である金融機関が確認している。</p> <p>ウ 本件について、当課は、センター及び環境対策課と連携し、状況を把握している。</p> <p>エ 今回の補助金上の「新事業」は、産業廃棄物の中間処理事業（以下「中間処理事業」という。）であると考えている。</p> <p>オ 現時点において、本件施設は中間処理事業に使用されており、自家処理（自らの事業活動に伴って生じた廃棄物を自ら処分することをいう。以下同じ。）には使用されていない。</p> <p>カ 補助金等に係る財産処分承認基準（以下「承認基準」という。）において、「本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>本案件に当てはめれば、中間処理事業に支障がない</p> | <p>範囲で自家処理のために本件施設を使用することは一定認められており、財産処分の手続は必要ないと整理している。</p> <p>キ 今回の補助金は、コロナや物価高騰等により経済的な影響を受けた事業者が業績の回復等を図ることを支援する目的のものであり、公益上必要がある補助金であると考えている。</p> <p>（2） 環境対策課</p> <p>工業振興課とは、必要な情報共有を行っており、連携して対応している。</p> <p>第4 監査の結果</p> <p>1 事実関係の確認</p> <p>監査対象部局に対する監査の結果、確認した事実は、次のとおりである。</p> <p>（1） 本件補助金に関する規則、要綱等について</p> <p>ア 高知県補助金等交付規則（昭和43年規則第7号。以下「交付規則」という。）は、県が交付する補助金等に係る予算の執行の適正を期することを目的として、補助金等の交付に関し基本的な事項を定めている。</p> <p>高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金は、県が交付する補助金であるから、交付規則の適用を受ける。</p> <p>イ 県は高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）により、センターは令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要領（以下「交付要領」という。）により、それぞれ高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付に関し必要な事項を定めている。</p> <p>ウ 「補助金等に係る財産処分について（平成20年11月28日高財政第210号副知事通知）」は、交付規則第19条第1項に規定する補助対象財産の処分の制限に関し、承認基準を設けている。</p> <p>（2） 本件補助金の支出に関する経緯について</p> <p>ア 令和5年8月4日、Aは、令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付申請書をセンターに提出し、本件補助金の交付を申請した。</p> <p>イ 令和5年9月27日、センターは、本件補助金の交付決定をAに通知した。</p> <p>ウ 令和6年1月19日、センターは、交付決定を受けた補助金のうち219,345,000円について県に概算払を請求し、県は、当該請求に係る支出命令書を作成した（センターへの支払日は令和6年1月31日）。</p> <p>なお、本件補助金は、上記219,345,000円に含まれている。</p> <p>エ 令和6年1月25日、Aは、本件補助金に係る補助事</p> | <p>業実績報告書をセンターに提出した（センターの受付日は令和6年2月14日）。</p> <p>オ 令和6年3月5日、センターは、本件補助金に係る額の確定をAに通知した。</p> <p>カ 令和6年3月8日、センターは、本件補助金をAに支出した。</p> <p>（3） 本件補助金の交付申請から決定までについて</p> <p>ア 本件補助金に係るAの交付申請書には、原油・物価高騰を受け売上高が5パーセント以上減少したこと、新たに中間処理事業に参入すること、そのために新たに本件施設を導入すること、また、新規事業である中間処理事業は既存事業と顧客が異なることが記載されている。</p> <p>イ Aの交付申請書に添付された事業計画については、認定経営革新等支援機関である金融機関が内容を確認している。</p> <p>ウ センターにおいては、外部有識者を中心とした5名の審査員が、製品・サービスの新規性、市場性、実現可能性、事業成果及び費用対効果の妥当性等について、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施した上で、交付決定を行っている。</p> <p>エ 工業振興課は、センター及び環境対策課と連携し、情報を共有している。</p> <p>オ 補助金の返還に関する条件は、交付規則、交付要綱及び交付要領にそれぞれ規定されている。</p> <p>カ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、現在中間処理事業を実施している。</p> <p>（4） 本件施設の使用状況について</p> <p>ア 交付規則第19条は財産の処分の制限について定めており、第1項には、補助事業者は、知事の承認を受けず、補助事業により取得した財産を補助金の交付の目的に反して使用してはならない旨の規定がある。</p> <p>イ 承認基準においては、「施設の業務時間外の時間帯や休日を利用し、本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>ウ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、中間処理事業を実施しており、現在は本件施設を自家処理のために使用していない。</p> <p>2 判断</p> <p>（1） 中間処理事業の許可に関連する事項について</p> <p>請求人は、Aの高知県産業廃棄物処理指導要綱の規定への対応等、Aに対する中間処理事業の許可に関連する事項について種々主張する。</p> <p>しかしながら、住民監査請求は普通地方公共団体におけ</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



る財務会計上の行為又は怠る事実を対象としており、中間処理事業の許可に関連する事項は県の財務会計上の行為や怠る事実には該当しないため、住民監査請求の対象とはならない。

（2） 本件補助金の交付申請から決定までについて

請求人は、工業振興課が交付規則に定める所要の対応措置をとらず漫然と補助金交付事務を進めた、また、センターが発する補助金交付決定通知書（請求人は「補助金確定通知書」としている。）に補助金返還条件を付加させなかったとして、交付規則に基づいた適正な予算執行を怠っていた旨主張する。

しかしながら、上記1（3）により、本件補助金に係るAの交付申請は交付要綱第3条第2項に定める要件及び市場の新規性要件を満たしていることや、センターにおける審査及び交付決定は適切に行われていることが認められる。

加えて、高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金は、設備投資を支援するための補助金であり、事業者が設備を設置する前に補助金の交付決定を受けるものであること、また、中間処理事業を実施しようとする場合、まず事業に使用する施設を設置し、その後事業の許可申請を行うものであることからすれば、Aが中間処理事業の許可を受ける前に、本件施設の導入のため本件補助金の交付決定を受けることに問題はない。

したがって、センターが本件補助金の交付を決定したことに違法又は不当な点はなく、工業振興課がセンターに対して交付規則に定める状況報告、調査、指示等特段の措置をとる必要もなかったものと認められる。

また、補助金の返還に関する条件をあえて補助金交付決定通知書に記載する必要性は認められないことや、工業振興課がセンター及び環境対策課と連携し、情報を共有していることからすれば、工業振興課が交付規則に基づいた適正な予算執行を怠っていたとは認められない。

（3） 本件施設の使用状況について

請求人は、Aが本件施設の使用を自家処理用に変更した、また、交付規則第19条に定める高知県知事（以下「知事」という。）の承認はなされていない旨主張する。

しかしながら、上記1（4）により、Aがこれまでに自家処理を行っていたとしても、当該自家処理は財産処分に該当せず、知事の承認に係る手続は不要であると解される。

よって、本件補助金について、知事が補助金の交付決定を取り消す要件に該当するとは認められない。

3 結論

以上のことから、本件補助金の県への返還を求める請求人の主張には理由がない。

よって、本件措置請求を棄却する。

第5 知事に対する意見

今回の監査を通じて、監査委員としての意見を述べる。

監査結果のとおり、本件補助金の交付に違法又は不当な点はないが、周辺住民が本件施設に不安を持っていることも考慮し、Aの中間処理事業について、センターを通じ事業計画を踏まえた進捗管理を実施されたい。

監査公表第3号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第242条第1項の規定に基づき、令和7年1月14日 土佐市 石元公令から提出のあった高知県職員措置請求について監査を行い、同年3月7日に監査結果を通知したので、同条第5項の規定により、次のとおり公表する。

令和7年3月28日

|         |        |
|---------|--------|
| 高知県監査委員 | 横山 文人  |
| 同       | 上田 貢太郎 |
| 同       | 奥村 陽子  |
| 同       | 五百蔵 誠一 |

（企業名を「A」としたほかは原文のまま登載）  
高知県職員措置請求監査報告書

第1 監査の請求

1 高知県職員措置請求書の提出

令和7年1月14日

2 請求人

土佐市 石元 公令

3 請求の内容

請求人提出の高知県職員措置請求書による措置内容及び請求の理由は、次のとおりである。

（1） 措置内容

補助事業者である公益財団法人高知県産業振興センター（以下「センター」という。）に対して高知県（以下「県」という。）が支出した令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金のうち、間接補助事業者である株式会社A（以下「A」という。）にセンターが支出した補助金2,500万円（以下「本件補助金」という。）の県への返還を求める。

（2） 請求の理由

高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金（以下、チャレンジ補助金）の申請・交付は高知県産業振興センター（以下、センター）を経由して行われるが、交付責任者は知事である。

香南市の株式会社Aは令和5年8月4日に、このチャレンジ補助金の交付に応募している。その申請内容は、新たに中間処理事業を行うための焼却炉2基の導入であ

り、補助金額は2,500万円である。この金額は令和6年3月8日にAに支払われている。

補助事業の期間は令和5年9月から令和6年1月である。Aは、この補助事業が令和6年1月25日に完了した旨、同年2月14日に県に報告している。

Aは、上記焼却炉2基は自家処理用だから許可を得る必要はないとして設置している。そして、令和6年10月9日に産業廃棄物処分業者としての許可を得たにもかかわらず、現在（令和6年12月10日時点）に至ってもなお、この2基を自家処理用として用いている。

この2基は、ゆらい（もともと）、A営むリサイクル業及び解体業から排出される産廃を自社処理することを主目的として設置したものである。このことは、Aの説明会資料の「事業計画概要」の冒頭に明記されている。Aは、この主目的こそを、チャレンジ補助金申請書の「事業計画概要」欄にも書くべきではなかったのか。そうしていないことは、高知県補助金交付規則（以下、交付規則）第15条第1項第1号の「偽り」にあたると思料される。また、自家処理のみの現状は、交付規則第9条第1項の禁じる「補助金の他の用途への使用」そのものであると言わざるをえない。

（3） 事実を証する書面

ア 「【新事業チャレンジ支援事業費補助金】土佐市の廃棄物処理施設建設への補助金交付について」  
イ 「土佐市での廃棄物処理施設建設について」  
ウ 高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金に係る補助事業実績報告書 ほか

第2 請求の受理

本件住民監査請求は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第242条に規定する要件を具備しているものと認め、受理することとした。

第3 監査の実施

1 監査対象事項

請求の内容から、本件補助金の支出が違法又は不当であるか、また、本件補助金を県に返還させる必要があるかを監査対象とした。

2 監査対象部局

令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金を所管している高知県商工労働部工業振興課（以下「工業振興課」という。）及び廃棄物の処理を所管している高知県林業振興・環境部環境対策課（以下「環境対策課」という。）を監査対象部局とした。

3 証拠の提出及び陳述

（1） 請求人の陳述

令和7年1月31日、法第242条第7項の定めるところに



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>より、請求人に対し、証拠の提出及び陳述の機会を設けた。</p> <p>また、法第242条第8項の定めるところにより、関係職員として、工業振興課及び環境対策課の職員6名を立ち会わせた。</p> <p>請求人の陳述の概要は、以下のとおりであった。</p> <p>Aの焼却炉は、Aが営むリサイクル業及び解体業から排出される産業廃棄物を処理することを目的として設置したものである。このことは、説明会の資料にも自ら記載している。しかしながら、補助金の申請には違ったことを書いている。これは、高知県補助金等交付規則でいう「偽り」に当たる。</p> <p>(2) 監査対象部局の陳述</p> <p>同日、監査対象部局である工業振興課及び環境対策課に対し陳述の機会を設けたが、両課はいずれも陳述を希望しなかったことから、陳述は実施しなかった。</p> <p>4 監査の実施</p> <p>工業振興課及び環境対策課から関係書類の提出を受け、本件補助金に係るAの交付申請、本件補助金の交付、焼却炉2基（以下「本件施設」という。）の使用状況等について確認するとともに、令和7年2月18日に聴取を行った。</p> <p>聴取の概要は、以下のとおりであった。</p> <p>(1) 工業振興課</p> <p>ア センターにおいては、外部有識者を含めた5名の審査員により、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施し、一定の点数をクリアした事業者について予算の範囲内で上位の点数の者から採択し、交付決定を行っている。</p> <p>イ Aの補助金交付申請書に添付された事業計画の内容は、認定経営革新等支援機関である金融機関が確認している。</p> <p>ウ 本件について、当課は、センター及び環境対策課と連携し、状況を把握している。</p> <p>エ 今回の補助金上の「新事業」は、産業廃棄物の中間処理事業（以下「中間処理事業」という。）であると考えている。</p> <p>オ 現時点において、本件施設は中間処理事業に使用されており、自家処理（自らの事業活動に伴って生じた廃棄物を自ら処分することをいう。以下同じ。）には使用されていない。</p> <p>カ 補助金等に係る財産処分承認基準（以下「承認基準」という。）において、「本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>本案件に当てはめれば、中間処理事業に支障がない</p> | <p>範囲で自家処理のために本件施設を使用することは一定認められており、財産処分の手続は必要ないと整理している。</p> <p>キ 今回の補助金は、コロナや物価高騰等により経済的な影響を受けた事業者が業績の回復等を図ることを支援する目的のものであり、公益上必要がある補助金であると考えている。</p> <p>(2) 環境対策課</p> <p>工業振興課とは、必要な情報共有を行っており、連携して対応している。</p> <p>第4 監査の結果</p> <p>1 事実関係の確認</p> <p>監査対象部局に対する監査の結果、確認した事実は、次のとおりである。</p> <p>(1) 本件補助金に関する規則、要綱等について</p> <p>ア 高知県補助金等交付規則（昭和43年規則第7号。以下「交付規則」という。）は、県が交付する補助金等に係る予算の執行の適正を期することを目的として、補助金等の交付に関し基本的な事項を定めている。</p> <p>高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金は、県が交付する補助金であるから、交付規則の適用を受ける。</p> <p>イ 県は高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）により、センターは令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要領（以下「交付要領」という。）により、それぞれ高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付に関し必要な事項を定めている。</p> <p>ウ 「補助金等に係る財産処分について（平成20年11月28日高財政第210号副知事通知）」は、交付規則第19条第1項に規定する補助対象財産の処分の制限に関し、承認基準を設けている。</p> <p>(2) 本件補助金の支出に関する経緯について</p> <p>ア 令和5年8月4日、Aは、令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付申請書をセンターに提出し、本件補助金の交付を申請した。</p> <p>イ 令和5年9月27日、センターは、本件補助金の交付決定をAに通知した。</p> <p>ウ 令和6年1月19日、センターは、交付決定を受けた補助金のうち219,345,000円について県に概算払を請求し、県は、当該請求に係る支出命令書を作成した（センターへの支払日は令和6年1月31日）。</p> <p>なお、本件補助金は、上記219,345,000円に含まれている。</p> <p>エ 令和6年1月25日、Aは、本件補助金に係る補助事</p> | <p>業実績報告書をセンターに提出した（センターの受付日は令和6年2月14日）。</p> <p>オ 令和6年3月5日、センターは、本件補助金に係る額の確定をAに通知した。</p> <p>カ 令和6年3月8日、センターは、本件補助金をAに支出した。</p> <p>(3) 本件補助金の交付申請から決定までについて</p> <p>ア 本件補助金に係るAの交付申請書には、原油・物価高騰を受け売上高が5パーセント以上減少したこと、新たに中間処理事業に参入すること、そのために新たに本件施設を導入すること、また、新規事業である中間処理事業は既存事業と顧客が異なることが記載されている。</p> <p>イ Aの交付申請書に添付された事業計画については、認定経営革新等支援機関である金融機関が内容を確認している。</p> <p>ウ センターにおいては、外部有識者を中心とした5名の審査員が、製品・サービスの新規性、市場性、実現可能性、事業成果及び費用対効果の妥当性等について、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施した上で、交付決定を行っている。</p> <p>エ 工業振興課は、センター及び環境対策課と連携し、情報を共有している。</p> <p>オ 補助金の返還に関する条件は、交付規則、交付要綱及び交付要領にそれぞれ規定されている。</p> <p>カ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、現在中間処理事業を実施している。</p> <p>(4) 本件施設の使用状況について</p> <p>ア 交付規則第19条は財産の処分の制限について定めており、第1項には、補助事業者は、知事の承認を受けず、補助事業により取得した財産を補助金の交付の目的に反して使用してはならない旨の規定がある。</p> <p>イ 承認基準においては、「施設の業務時間外の時間帯や休日を利用し、本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>ウ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、中間処理事業を実施しており、現在は本件施設を自家処理のために使用していない。</p> <p>2 判断</p> <p>(1) 本件補助金の交付申請から決定までについて</p> <p>請求人は、Aが本件施設を自家処理用に設置したにもかかわらず、このことを補助金交付申請書に記載しなかったのは、交付規則第15条第1項第1号の「偽り」に当たる旨主張する。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                          |         |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|
| しかしながら、上記１（３）により、本件施設の設置は、Aが新たに中間処理事業に参入することを目的としたものであると認められるから、Aの交付申請書の記載が偽りであるとはいえない。                                  |         |        |
| （２） 本件施設の使用状況について                                                                                                        |         |        |
| 請求人は、Aが産業廃棄物処分業者としての許可を得たにもかかわらず、現在に至ってもなお本件施設を自家処理用として用いており、これは交付規則第9条第1項が禁じる「補助金の他の用途への使用」そのものである旨主張する。                |         |        |
| しかしながら、上記１（４）により、Aがこれまでに自家処理を行っていたとしても、当該自家処理は財産処分に該当せず、知事の承認に係る手続は不要であると解される。                                           |         |        |
| よって、本件補助金について、知事が補助金の交付決定を取り消す要件に該当するとは認められない。                                                                           |         |        |
| 3 結論                                                                                                                     |         |        |
| 以上のことから、本件補助金の県への返還を求める請求人の主張には理由がない。                                                                                    |         |        |
| よって、本件措置請求を棄却する。                                                                                                         |         |        |
| 第5 知事に対する意見                                                                                                              |         |        |
| 今回の監査を通じて、監査委員としての意見を述べる。                                                                                                |         |        |
| 監査結果のとおり、本件補助金の交付に違法又は不当な点はないが、周辺住民が本件施設に不安を持っていることも考慮し、Aの中間処理事業について、センターを通じ事業計画を踏まえた進捗管理を実施されたい。                        |         |        |
| ~~~~~                                                                                                                    |         |        |
| 監査公表第4号                                                                                                                  |         |        |
| 地方自治法（昭和22年法律第67号）第242条第1項の規定に基づき、令和7年1月14日 土佐市 村上信夫から提出のあった高知県職員措置請求について監査を行い、同年3月7日に監査結果を通知したので、同条第5項の規定により、次のとおり公表する。 |         |        |
| 令和7年3月28日                                                                                                                |         |        |
|                                                                                                                          | 高知県監査委員 | 横山 文人  |
|                                                                                                                          | 同       | 上田 貢太郎 |
|                                                                                                                          | 同       | 奥村 陽子  |
|                                                                                                                          | 同       | 五百蔵 誠一 |
| （企業名を「A」、「B」及び「C」としたほかは原文のまま登載）                                                                                          |         |        |
| 高知県職員措置請求監査報告書                                                                                                           |         |        |
| 第1 監査の請求                                                                                                                 |         |        |
| 1 高知県職員措置請求書の提出                                                                                                          |         |        |
| 令和7年1月14日                                                                                                                |         |        |
| 2 請求人                                                                                                                    |         |        |

|                                                                                                                                                                                                                      |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 土佐市 村上 信夫                                                                                                                                                                                                            |  |
| 3 請求の内容                                                                                                                                                                                                              |  |
| 請求人提出の高知県職員措置請求書による措置内容及び請求の理由は、次のとおりである。                                                                                                                                                                            |  |
| （１） 措置内容                                                                                                                                                                                                             |  |
| 補助事業者である公益財団法人高知県産業振興センター（以下「センター」という。）に対して高知県（以下「県」という。）が支出した令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金のうち、間接補助事業者である株式会社A（以下「A」という。）にセンターが支出した補助金2,500万円（以下「本件補助金」という。）の県への返還を求める。                                                   |  |
| （２） 請求の理由                                                                                                                                                                                                            |  |
| （１） 他の用途使用がされた                                                                                                                                                                                                       |  |
| 1）自家焼却施設として設置                                                                                                                                                                                                        |  |
| 間接補助事業は新たに中間処理業を行うための焼却施設一式整備（資料①）である。令和5年9月27日に補助金交付決定をうけ令和6年1月末までの事業期間で焼却施設の整備を進めてきたものである。                                                                                                                         |  |
| ところが間接補助事業者は令和6年1月の地元説明会では自家処理施設を設置し自家処理をおこない業許可後に業を行うとした（資料②）。説明会資料では、「リサイクル業や建設解体業から排出される自社処理が目的で東鴨地に用地を求め・・・小型焼却炉を建設中」（資料②P1）などと記している。                                                                            |  |
| 中間処理施設として整備してきたにもかかわらず、施設を設置した目的が自家焼却としている。自家焼却は、中間処理業の許可をとらなくても出来るのであるから既存事業である。「既存事業等、補助事業以外で用いる場合」は目的外使用（資料③・公募要領P11）である。                                                                                         |  |
| 高知県産業廃棄物処理指導要綱（資料④）では設置許可のいらない小規模炉でも、業の用に供するならば中間処理施設とみなされ（同要綱第2条6）、事前協議（同第7条）と事前住民説明（同第3条）が求められる。しかしながら事業者は自家処理施設であるから第2条6項は該当しないとした（資料②P2）。施設設置の事前協議は不要としたのである。業のための施設でありながら自家焼却とした偽りで、施設設置前の事前協議逃れに用いたものであり悪質である。 |  |
| 2）自家焼却として利用                                                                                                                                                                                                          |  |
| 令和6年1月の説明会資料では、間接補助事業者・（株）Aがしている古物商の残さ：廃プラスチック。Aのしている解体業からの残さ：紙くず、木く                                                                                                                                                 |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| ず、繊維くず、廃油が主に自家処理となる処理フローが示されている（資料②P2）。ほぼ同様の内容で、産業廃棄物処理業申請（資料⑤）がされている。説明会でも自家処理分が結構あると説明していた。そのことを私が2024年12月10日の市議会での担当課長に問うと「施設の規模から業での受け入れ分より自家焼却の処分が多いと想定している旨の説明があったと認識している」との答弁があった。また「現在、他社の産業廃棄物を受け入れるための契約には至っておらず、自家焼却のみ」と答えている（資料⑥）。つまり自家焼却は業開始後も、多いとしている。業の分よりも多いという説明もされている。                           |  |
| これは市場の新規性要件を満たさない（資料③P22）。「既存事業等、補助事業以外で用いた場合目的外使用と判断し、残存簿価相当分を返還いただく」（資料③P11）とされており返還が求められるものである。                                                                                                                                                                                                                 |  |
| 申請した事業計画（資料⑦・P1）では、「既存事業と新規事業ではターゲットとする市場及び顧客は明確に異なる」としている。既存事業は鉄スクラップ卸売業だけであり、解体業をしていることは記されていない。ターゲットでは短期的には「南国市・香南市・香美市の事業者とする」（同P5）としている。事業計画では自家焼却は全く否定しているのである。具体的な対象をあげて「受託の見込みは高い」（同P5）としている。現在未契約であることから信ぴょう性が問われる。また自家焼却は新規事業ではない。新規事業の売上高（同P13P14）は自家焼却が多いとその分減る。求められる新規事業の「売上高要件5%以上」（資料③P22）は満たさなくなる。 |  |
| 以上、間接補助目的に反し自家焼却施設をして設置し、利用においても事業計画を反故にした自家焼却利用であることが明らかになっている。「高知県補助金交付規則」第15条2（1）（資料⑧）の示す間接補助事業の用途外使用がされている。                                                                                                                                                                                                    |  |
| （２） 申請資料に虚偽及びその疑いがある。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| 先に述べたように、申請資料において、新市場進出や売上高5%の内容に虚偽またその疑いがある。古物商（鉄スクラップ卸売業）や解体業での自家処理をするとした【処理フロー】（資料②P2）は9月4日県提出としている。令和5年9月27日の補助金決定前である。【処理フロー】では業開始を令和6年4月とするなどスケジュールも申請資料（資料⑦P7）と違っ                                                                                                                                           |  |

ているが、計画内容の変更をしていない。

その他に、1日の稼働時間や再燃焼装置設置で競合他社より有利としている（資料⑦・事業計画書P6、P10）が、県環境対策課に問うと、「1日の稼働時間は通常8時間である。再燃焼装置は設ける必要があり他社も設けている」（資料⑨）とのことだった。

間接補助事業では設置許可の要らない小型炉（廃プラ専焼炉H-2T型：8kg／時間、H-9T型：84kg／時間）を用いている。廃プラ専焼炉は年1回のダイオキシンの自主検査も求められない（ダイオキシン類特措法による届出不要炉）。塩化ビニールは燃やさない（資料⑩）としている。事業計画の競合他社（資料⑦P10）では競合2社と比較し「性能面で優位性がある」としているが、競合2社（B450kg／時、C1,580kg／時）（資料⑪）と比べ間接補助事業の焼却炉は小さく、費用対効果は逆に悪いとみられる。

短期的なターゲットである南国市・香南市・香美市の事業者（資料⑦P5）と土佐市の間には高知市がある。高知市許可での競合他社（4品目焼却）は3社ある（資料⑪）が比較検討をしていない。

「将来の展望」（資料⑦P9）では解体業から生じる木くずなどのゴミの需要を示している。しかし解体業で求められるのは循環型社会をめざし、リサイクルの推進である（資料⑪）。木くずでは焼却を少なくしてリサイクル化を高めることである。間接補助事業者は焼却処理だけで破砕処理などできない。高知市をいれた競合他社5社と比べ焼却能力は1番低く、破砕などリサイクルする処理ができない。

令和6年10月23日の説明会では「施設の規模から業での受け入れ分より自家焼却の処分が多いと想定している」と間接補助事業者側が説明したことを土佐市の担当課長が覚えている（資料⑥）。競合他社の実情をみれば説得性はある。事業計画の競合他社との比較は不正確であり虚偽の疑いがある。

以上申請資料に不正確で虚偽及びその疑いがある。間接補助事業の目的である新たな中間処理業ができる根拠は不十分である。自家焼却との目的外使用を促す問題である。補助事業者は重要説明事項で予算適正化法に違反した場合（虚偽報告）には補助金の返還など行うとしている（資料③P17）。「補助金申請に関する誓約書兼同意書」（資料⑫）でも確認しているが処分がされていない。補助事業者は善良な管理者としての適切な処分を怠っている。

### （3） 公益性がなく法令違反である

県（工業振興課）は、過去に中間処理業の採択例は

ある（資料①P2）としているが、採択例は木質チップをつくる木材の破砕処分である。中間処理は多種あるが焼却処分は、地球環境への負荷が大きい。生活環境の影響が十分考慮される必要があることからわずか4か月と期限を切ったチャレンジ支援事業費補助は無理があった。県は周辺住民の同意は要件にしていない（資料①P2）としているが、住民同意は審査視点③実現性にかかわる大事な要件とすべきである。問題は申請内容に上げた近隣住民対策（資料①P2）が違っていたことである。岩戸米など周辺農産物から影響を懸念される立地場所を選択したことや焼却施設設置後に住民説明会を行ったこと（資料⑬）を問題にし、問題が起らないようにするのが公益を守る立場である。

地方自治法では、補助金は公益上必要な場合に補助ができる。公益法人法では公益は多数の利益増進に寄与すべきものとされている（資料⑭）。これは当間接補助金の支出先企業などには利するものがあったても、当事業による影響が多数に利するかどうかの判断が必要であるということである。

環境省は、「環境廃棄物処理業の振興方針に関する提言」（資料⑮）を取りまとめている。「産業廃棄物処理業が我が国の社会循環システムに不可欠なインフラであり、地域と共存しながら持続可能な発展を図ることが、循環型社会の構築を図る上で重要」としている。一方で迷惑施設と認識され地域から反対を受けがちであるとし、そのなかでも地域と連携し、地域循環型の構築に貢献していることの重要性を説いている。

その上での公益性のない2点の問題を指摘する。

一つは、地球温暖化抑制やプラスチックゼロ戦略を進めようとする（資料⑮）中で、間接補助事業は破砕などのリサイクル処理ができるものではなく焼却処分だけである。2基の焼却施設は、許可のいらない小型炉であり、冷却機能がなく、排ガス処理能力など公害防止機能は許可の必要な焼却炉より劣る。発電機能などの熱利用もない。今後求められる循環型社会に反するものである。

もう一つ、間接補助事業者は、県産廃指導要綱の求める施設設置前の事前協議・事前協議に求められる事前住民説明を逃れ、施設が出来上がってから住民説明会を開いた。地域連携に背を向ける行為である。県指導要綱6条が求める近隣者の同意要件は満たしていない。岩戸米生産者など近隣農業者からの不安の声が出され約3千筆もの地元からの反対署名が寄せられている（資料⑬）。反対者は補助事業によって利するもの

より多いのではない。間接補助金交付は、県指導要綱を守らなくていいとすることや、循環型社会をつくる産業廃棄物処理業に必要な信頼性づくりを無視することにつながる。

以上より間接補助事業は公益性に反するものであり、県補助金交付規則第15条2（2）の法令違反に該当する。

### （3） 事実を証する書面

ア 「【新事業チャレンジ支援事業費補助金】土佐市の廃棄物処理施設建設への補助金交付について」

イ 「土佐市での廃棄物処理施設建設について」

ウ 令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金 公募要領（2次公募）

エ 高知県産業廃棄物処理指導要綱

オ 高知県補助金等交付規則 ほか

### 第2 請求の受理

本件住民監査請求は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第242条に規定する要件を具備しているものと認め、受理することとした。

### 第3 監査の実施

#### 1 監査対象事項

請求の内容から、本件補助金の支出が違法又は不当であるか、また、本件補助金を県に返還させる必要があるかを監査対象とした。

#### 2 監査対象部局

令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金を所管している高知県商工労働部工業振興課（以下「工業振興課」という。）及び廃棄物の処理を所管している高知県林業振興・環境部環境対策課（以下「環境対策課」という。）を監査対象部局とした。

#### 3 証拠の提出及び陳述

##### （1） 請求人の陳述

令和7年1月31日、法第242条第7項の定めるところにより、請求人に対し、証拠の提出及び陳述の機会を設けた。

また、法第242条第8項の定めるところにより、関係職員として、工業振興課及び環境対策課の職員6名を立ち会わせた。

請求人は、措置請求書を補充する証拠として、「近隣者の同意要件と同意書の内容は守られていない」と題する書面及び「小型焼却炉はダイオキシンなど抑える公害防止機能が不十分」と題する書面を提出した。

請求人の陳述の概要は、以下のとおりであった。

ア 焼却炉は、設置においても利用においても目的外使用がなされている。Aは、従来から行っているリサイ



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>クル業、解体業から出るゴミの処分のために自家処理施設を設置し、その後許可を取って業を行うということである。既存事業に活用するなど、専ら補助事業のために使用されない場合は経費として認められない。</p> <p>イ Aの申請書類には虚偽がある。計画内容の変更をしていない。</p> <p>ウ Aによる間接補助事業には公益性がない。</p> <p>（2） 監査対象部局の陳述</p> <p>同日、監査対象部局である工業振興課及び環境対策課に対し陳述の機会を設けたが、両課はいずれも陳述を希望しなかったことから、陳述は実施しなかった。</p> <p>4 監査の実施</p> <p>工業振興課及び環境対策課から関係書類の提出を受け、本件補助金に係るAの交付申請、本件補助金の交付、焼却炉2基（以下「本件施設」という。）の使用状況等について確認するとともに、令和7年2月18日に聴取を行った。</p> <p>聴取の概要は、以下のとおりであった。</p> <p>（1） 工業振興課</p> <p>ア センターにおいては、外部有識者を含めた5名の審査員により、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施し、一定の点数をクリアした事業者について予算の範囲内で上位の点数の者から採択し、交付決定を行っている。</p> <p>イ Aの補助金交付申請書に添付された事業計画の内容は、認定経営革新等支援機関である金融機関が確認している。</p> <p>ウ 本件について、当課は、センター及び環境対策課と連携し、状況を把握している。</p> <p>エ 今回の補助金上の「新事業」は、産業廃棄物の中間処理事業（以下「中間処理事業」という。）であると考えている。</p> <p>オ 現時点において、本件施設は中間処理事業に使用されており、自家処理（自らの事業活動に伴って生じた廃棄物を自ら処分することをいう。以下同じ。）には使用されていない。</p> <p>カ 補助金等に係る財産処分承認基準（以下「承認基準」という。）において、「本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>本案件に当てはめれば、中間処理事業に支障がない範囲で自家処理のために本件施設を使用することは一定認められており、財産処分の手続は必要ないと整理している。</p> <p>キ 今回の補助金は、コロナや物価高騰等により経済的な影響を受けた事業者が業績の回復等を図ることを支</p> | <p>援する目的のものであり、公益上必要がある補助金であると考えている。</p> <p>（2） 環境対策課</p> <p>工業振興課とは、必要な情報共有を行っており、連携して対応している。</p> <p>第4 監査の結果</p> <p>1 事実関係の確認</p> <p>監査対象部局に対する監査の結果、確認した事実は、次のとおりである。</p> <p>（1） 本件補助金に関する規則、要綱等について</p> <p>ア 高知県補助金等交付規則（昭和43年規則第7号。以下「交付規則」という。）は、県が交付する補助金等に係る予算の執行の適正を期することを目的として、補助金等の交付に関し基本的な事項を定めている。</p> <p>高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金は、県が交付する補助金であるから、交付規則の適用を受ける。</p> <p>イ 県は高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）により、センターは令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付要領（以下「交付要領」という。）により、それぞれ高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付に関し必要な事項を定めている。</p> <p>ウ 「補助金等に係る財産処分について（平成20年11月28日高財政第210号副知事通知）」は、交付規則第19条第1項に規定する補助対象財産の処分の制限に関し、承認基準を設けている。</p> <p>（2） 本件補助金の支出に関する経緯について</p> <p>ア 令和5年8月4日、Aは、令和5年度高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金交付申請書をセンターに提出し、本件補助金の交付を申請した。</p> <p>イ 令和5年9月27日、センターは、本件補助金の交付決定をAに通知した。</p> <p>ウ 令和6年1月19日、センターは、交付決定を受けた補助金のうち219,345,000円について県に概算払を請求し、県は、当該請求に係る支出命令書を作成した（センターへの支払日は令和6年1月31日）。</p> <p>なお、本件補助金は、上記219,345,000円に含まれている。</p> <p>エ 令和6年1月25日、Aは、本件補助金に係る補助事業実績報告書をセンターに提出した（センターの受付日は令和6年2月14日）。</p> <p>オ 令和6年3月5日、センターは、本件補助金に係る額の確定をAに通知した。</p> <p>カ 令和6年3月8日、センターは、本件補助金をAに</p> | <p>支出した。</p> <p>（3） 本件補助金の交付申請から決定までについて</p> <p>ア 本件補助金に係るAの交付申請書には、原油・物価高騰を受け売上高が5パーセント以上減少したこと、新たに中間処理事業に参入すること、そのために新たに本件施設を導入すること、また、新規事業である中間処理事業は既存事業と顧客が異なることが記載されている。</p> <p>イ Aの交付申請書に添付された事業計画については、認定経営革新等支援機関である金融機関が内容を確認している。</p> <p>ウ センターにおいては、外部有識者を中心とした5名の審査員が、製品・サービスの新規性、市場性、実現可能性、事業成果及び費用対効果の妥当性等について、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施した上で、交付決定を行っている。</p> <p>エ 工業振興課は、センター及び環境対策課と連携し、情報を共有している。</p> <p>オ 補助金の返還に関する条件は、交付規則、交付要綱及び交付要領にそれぞれ規定されている。</p> <p>カ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、現在中間処理事業を実施している。</p> <p>（4） 本件施設の使用状況について</p> <p>ア 交付規則第19条は財産の処分の制限について定めており、第1項には、補助事業者は、知事の承認を受けないで、補助事業により取得した財産を補助金の交付の目的に反して使用してはならない旨の規定がある。</p> <p>イ 承認基準においては、「施設の業務時間外の時間帯や休日を利用し、本来の事業に支障を及ぼさない範囲で一時的に他用途に使用する場合は、財産処分に該当せず、手続は不要である」とされている。</p> <p>ウ Aは、令和6年10月9日に中間処理事業に係る許可を受け、中間処理事業を実施しており、現在は本件施設を自家処理のために使用していない。</p> <p>2 判断</p> <p>（1） 中間処理事業の許可に関連する事項について</p> <p>請求人は、Aの高知県産業廃棄物処理指導要綱の規定への対応等、Aに対する中間処理事業の許可に関連する事項について種々主張する。</p> <p>しかしながら、住民監査請求は普通地方公共団体における財務会計上の行為又は怠る事実を対象としており、中間処理事業の許可に関連する事項は県の財務会計上の行為や怠る事実には該当しないため、住民監査請求の対象とはならない。</p> <p>（2） 本件補助金の交付申請から決定までについて</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



請求人は、Aの中間処理事業は市場の新規性要件を満たさない、また、申請資料において新市場進出や売上高5パーセントの内容に虚偽及びその疑いがある旨主張する。

しかしながら、上記1（3）により、本件補助金に係るAの交付申請は交付要綱第3条第2項に定める要件及び市場の新規性要件を満たしていることや、センターにおける審査及び交付決定は適切に行われていることが認められる。

これらのことからすれば、センターが本件補助金の交付を決定したことに違法又は不当な点はなく、工業振興課の対応にも問題は認められない。

（3） 本件施設の使用状況について

請求人は、Aは本件施設を自家処理のために使用しており、これは用途外使用に当たる旨主張する。

しかしながら、上記1（4）により、Aがこれまでに自家処理を行っていたとしても、当該自家処理は財産処分該当せず、知事の承認に係る手続は不要であると解される。

よって、本件補助金について、知事が補助金の交付決定を取り消す要件に該当するとは認められない。

（4） Aの中間処理事業の公益性について

請求人は、Aの中間処理事業について、今後求められる循環型社会に反するものであること、地元からの反対署名が多く寄せられていること等から、公益性に反するものであり、交付規則第15条第2項第2号の法令違反に該当する旨主張する。

しかしながら、本件補助金は、交付要綱第3条第1項に定めるとおり、新型コロナウイルス感染症又は原油価格・物価高騰等によって経済的な影響を受けた県内中小企業者、中堅企業等が業績の回復又はウィズコロナ及びアフターコロナ時代の変化に対応した持続的な事業運営若しくは成長拡大を図ることを目的として行う設備投資を伴う新たな取組を支援するために交付されるものである。

また、センターにおいては、外部有識者を中心とした5名の審査員が、書面及びプレゼンテーションによる審査を実施した上で、補助金の交付決定を行っている。

これらのことからすれば、Aの中間処理事業は、高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金の交付目的に沿ったものであり、公益性を有していると認められる。

3 結論

以上のことから、本件補助金の県への返還を求める請求人の主張には理由がない。

よって、本件措置請求を棄却する。

第5 知事に対する意見

今回の監査を通じて、監査委員としての意見を述べる。

監査結果のとおり、本件補助金の交付に違法又は不当な点はないが、周辺住民が本件施設に不安を持っていることも考

慮し、Aの中間処理事業について、センターを通じ事業計画を踏まえた進捗管理を実施されたい。

-----

そ の 他

-----

公営住宅法（昭和26年法律第193号）第47条第1項の規定に基づき高知県に代わって県営住宅（高知県営住宅の設置及び管理に関する条例（平成9年高知県条例第3号）第2条第3号に規定する従前居住者用住宅を除く。）及び共同施設（同条例第2条第4号に規定する従前居住者用住宅に係る共同施設と同等と認められる施設を除く。）（以下「県営住宅等」という。）の管理を行うこととなったので、同法第47条第2項の規定により次のとおり公告する。

令和7年3月28日

高知県住宅供給公社理事長 杉村 充孝

1 高知県に代わって県営住宅等の管理を行う地方住宅供給公社の名称

高知県住宅供給公社

2 高知県住宅供給公社が高知県に代わって管理を行う県営住宅等の名称

| 団地名    | 位置       |
|--------|----------|
| 鏡水     | 高知市上町四丁目 |
| 大津     | 高知市大津    |
| 若草町    | 高知市若草町   |
| 若草南    | 高知市若草南町  |
| 介良     | 高知市介良    |
| 船岡     | 高知市神田    |
| 小高坂三の丸 | 高知市平和町   |
| 宇治     | 吾川郡いの町   |
| 長浜馬場の西 | 高知市長浜    |
| 柳ノ内    | 室戸市室津    |
| 行当     | 室戸市元     |
|        |          |

|      |              |
|------|--------------|
| 土佐山田 | 香美市土佐山田町     |
| 鏡川   | 高知市鴨部一丁目     |
| 潮江   | 高知市小石木町      |
| 船岡南  | 高知市神田        |
| 桜ヶ丘  | 安芸市桜ヶ丘町      |
| 沖田   | 高知市朝倉        |
| 別所山  | 香南市赤岡町       |
| 日高   | 高岡郡日高村       |
| 元    | 室戸市元         |
| 十津南  | 高知市十津五丁目     |
| 春野   | 高知市春野町内ノ谷    |
| 天神南  | 安芸郡奈半利町      |
| 鏡野   | 香美市土佐山田町神母ノ木 |
| 窪川   | 高岡郡四万十町      |
| 奈半利  | 安芸郡奈半利町      |
| 佐喜浜  | 室戸市佐喜浜町      |
| 蒲原   | 南国市岡豊町蒲原     |
| 赤岡   | 香南市赤岡町       |
| 安芸東  | 安芸市川北        |
| 野根   | 安芸郡東洋町       |
| 横浜   | 高知市横浜新町二丁目   |
| 田野   | 安芸郡田野町       |
| 南国   | 南国市小籠二丁目     |

|      |            |
|------|------------|
| 中村   | 四万十市中村丸の内  |
| 桜川   | 須崎市押岡      |
| 吉川   | 香南市吉川町吉原   |
| 土佐   | 土佐市蓮池      |
| 清水   | 土佐清水市幸町    |
| 赤岡東  | 香南市赤岡町     |
| 十市   | 南国市緑ヶ丘一丁目  |
| 佐川   | 高岡郡佐川町     |
| 日高東  | 高岡郡日高村     |
| 宿毛   | 宿毛市平田町     |
| 宝永   | 安芸市宝永町     |
| 中村北  | 四万十市安並     |
| 鴨部   | 高知市鴨部二丁目   |
| 奈半利東 | 安芸郡奈半利町    |
| 佐賀   | 幡多郡黒潮町     |
| 本山   | 長岡郡本山町     |
| 横浜第二 | 高知市横浜新町一丁目 |
| 田野西  | 安芸郡田野町     |
| 土佐南  | 土佐市蓮池      |
| 吉川西  | 香南市吉川町吉原   |
| 羽根   | 室戸市羽根町     |
| 野根第二 | 安芸郡東洋町     |
|      |            |

|      |            |
|------|------------|
| 大方   | 幡多郡黒潮町     |
| 菜生   | 室戸市室戸岬町    |
| 竹島   | 高知市南竹島町    |
| 朝倉   | 高知市朝倉本町一丁目 |
| 羽根第二 | 室戸市羽根町     |

- 3 高知県住宅供給公社が高知県に代わって行う県営住宅等の管理の内容
- (1) 公営住宅法第47条第3項各号（第4号、第6号及び第7号を除く。）に掲げる業務
- (2) 県営住宅等の整備及び改修に関する業務並びに(1)に掲げる業務に付随する業務
- 4 高知県住宅供給公社が高知県に代わって県営住宅等の管理を行う期間
- 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

~~~~~

公営住宅法（昭和26年法律第193号）第47条第1項の規定に基づき日高村に代わって村営住宅等（日高村営住宅設置及び管理に関する条例（平成9年日高村条例第22号）第2条第1号に規定する村営住宅及び同条第3号に規定する共同施設をいう。以下同じ。）の管理を行うこととなったので、同法第47条第2項の規定により次のとおり公告する。

- 令和7年3月28日
- 高知県住宅供給公社理事長 杉村 充孝
- 1 日高村に代わって村営住宅等の管理を行う地方住宅供給公社の名称
- 高知県住宅供給公社
- 2 高知県住宅供給公社が日高村に代わって管理を行う村営住宅等の名称

団地名	位置
村営住宅西ノ越住宅	高岡郡日高村本郷3,352番地2
村営住宅国岡団地A棟	高岡郡日高村下分3,092番地2
村営住宅国岡団地B棟	〃
村営住宅馬越団地	高岡郡日高村沖名1,085番地

村営住宅夢団地	高岡郡日高村本村24番地1
村営住宅清水田団地	高岡郡日高村本郷1,604番地11
村営住宅福良住宅	高岡郡日高村下分3,938番地2
村営住宅鍛冶屋住宅	高岡郡日高村下分3,884番地1

- 3 高知県住宅供給公社が日高村に代わって行う村営住宅等の管理の内容
- (1) 公営住宅法第47条第3項各号（第4号、第6号及び第7号を除く。）に掲げる業務
- (2) 村営住宅等の整備及び改修に関する業務並びに(1)に掲げる業務に付随する業務
- 4 高知県住宅供給公社が日高村に代わって村営住宅等の管理を行う期間
- 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで